



第3回八代警察署協議会の開催

12月14日(木)、八代警察署において、令和5年度第3回八代警察署協議会を開催しました。交通事故発生状況や外国人情勢(別添)などの管内情勢報告、質疑応答等につき、女性職員との意見交換会を実施しました。

質疑応答(一部)

問) 八代署管内の外国人失踪者がこんなに多いことに驚きました。対策や今後の方針等を教えてください。

答) 管内に居住する外国人約3,800人の内、技能実習生は約57パーセントを占めています。新型コロナの流行期間中、技能実習生、失踪者数ともに減少しましたが、コロナが落ち着き、現在は、再び増加に転じています。

インバウンドで外国人のさらなる増加が予想されるため、引き続き関係機関と連携しながら、違法行為に対する取締り等を行っていきます。

問) JAFの調査で、信号機のない横断歩道を渡ろうとする歩行者がいる場合の車の一時停止率が、熊本県は全国平均を21ポイント上回る66.1%と全国で4番目になったと報道されていましたが、八代署管内の現状はどうか。また、JAFと連携した取組が何か行われていますか。

答) 八代署管内に、JAFの調査箇所はなかったため、正確な数字はないものの、一時停止率は向上しているのではないかと推察します。

ただ、いまだに、横断歩行者等妨害等違反と認める車は後を絶たせませんし、横断歩道で歩行者がはねられる事故も発生していることから、まだまだ対策を推進する必要があると承知しています。

なお、県警は、JAFと連携して、安全運転サポート車の体験会やシートベルトコンビンサーを活用した交通安全教育を実施しています。



女性職員との意見交換会

八代警察署で勤務する女性職員全員と署幹部との昼食会を2回に分けて実施し、その内1回を、第3回警察署協議会終了後に委員との意見交換会も兼ねて開催しました。

食事を交えながら、和気あいあいとした雰囲気が進み、警察組織における女性職員の立場等を委員に理解していただくよい機会となりました。

また、委員から、女性職員に対して、励ましのお言葉や温かいお言葉をかけていただき、今後の糧となりました。



令和6年も、署員一丸となり、八代地区の安全・安心のため邁進します。
引き続き、皆様の御協力をお願いします。

